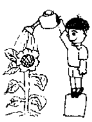
家庭園芸　夏の水やり



園芸作業で一番回数の多いのは水やりです。特に夏は植物の生死にかかわります。

水やりの場合、回数と量が問題になります。たっぷりと言うのは、量のことで、鉢植えの場合は、鉢穴から水が流れ出るくらい。庭木の場合は、一〇㍉の降雨量（一平方㍍当り一〇㍑）くらいの水の量を与えます。

また、水を切らさない程度とか、水を控えめにと言うのは、回数を言っています。鉢植えの場合は、表面の土が白く乾いてから、庭土の場合は、三日くらい晴天が続いたら水をやります。

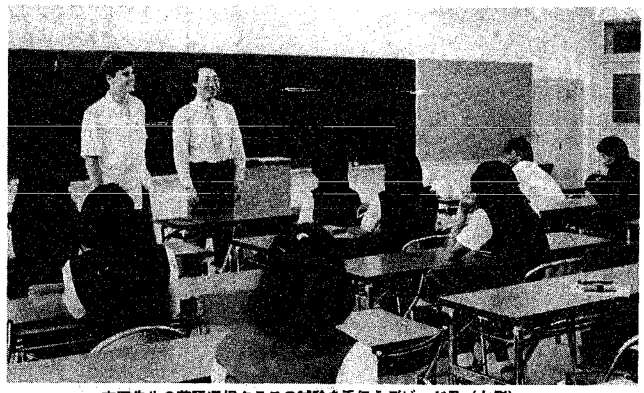
乾燥のはげしい鉢は二重鉢（鉢のまま二回り大きい鉢に重ねて入れる）にしておくと、乾きが遅くなります。また、鉢の上にピートモス、ミズゴケなどで二～三㌢覆うか、庭木の周りは、ワラやイネ科の青草で覆うのも効果があります。

夕方、葉の表面に葉水をやると、葉の温度を低くし、植物の夏バテ防止に役立ちます。また、葉水をやることによりハダニの発生も少なくなります。その時、鉢、庭木の廻りにも散水すると効果がさらにあがります。

（園芸センター）

高志高校に留学生

米国南東部出身のデビッド・ディラン君



吉田先生の英語選択クラスの試験を手伝うデビッド君（左側）

「相互理解による国際平和」を目指して世界六十数カ国で高校生の交換活動を行っているボランティア団体・AFSを通じ、今年も新潟市に三人の短期留学生（二カ月半）がやってきました。

今月七日、このうちの一人、米国南東部・ノースカロライナ州出身のデビッド・ディラン君（一六歳）が通っている市立高志高校（小黒英作校長、生徒千二百七十三人）を訪ねてみました。

異文化の中で住んでみたい

「異文化の中で住んでみたい」と思って日本を希望したデビッド君が高志高校に来たのは六月十九日。以来、一年六組（担任・吉田博教諭）の生徒として、芸術、英語、国語、現代社会、体育、数学などの授業や放課後のバスケットボールクラブと、高校生活を楽しんでいます。

訪ねた日、デビッド君は、吉田先生の英語選択クラスの期末試験を手伝っていました。試験は、前半、デビッド君のアメリカでの生活などを吉田先生がデビッド君に質問するのを聞き、後半、二人のやりとりを基にした吉田先生の質問に、生徒が答案用紙に答えを書くといったものです。もちろん、すべて英語。

いろんな人間が地球上にいる

吉田先生は、外国人留学生の受け入れについて積極的な考えを持っています。「地球上にいろんな人間が住んでいることを生徒たちに教えたい。〝外人〟、〝外人〟と遠巻きにするのではなく、同じ人間として扱う態度を身につけさせたい。デビッド君にとっても、いろんな人間がいることを知る良い機会にしてほしい」と話してくれました。

同校では、今までにも何人か短期留学生を受け入れており、生徒たちは最初は珍しがっても、そのうち特別扱いをしなくなるそうです。

日本人は画一的ではなかった

デビッド君の来日前の日本人観は「背が低く、眼鏡を掛けて、カメラをぶらさげている」といった画一的なものでした。しかし、実際に日本人の間で生活してみると「日本人もアメリカ人と同じようにいろんな人がいるんだな」と実感したそうです。

また、日米の高校生の比較では「日本の高校生の方が団体行動がうまい」とのこと。新潟市についても「アメリカのソルトレークシティのように非常にまちがきれい。狭く込み入っている道路を除けば、すべてが好き」と好印象。

デビッド君の新潟滞在は、八月下旬まで。九月の新学期からは、ノースカロライナ州のヒッコリー高校の生徒に戻ります。

7月21日～8月20日は「夏の交通事故防止運動」

シートベルト ヘルメットの着用を

市と市交通対策協議会では、七月二十一日から八月二十日まで、①シートベルト・ヘルメット着用の徹底②子供と老人の交通事故防止③二輪車の交通事故防止を重点目標に「夏の交通事故防止運動」を実施します。

期間中、市では交通安全指導所の開設、自転車競技大会や老人交通教室の開催、停止指導線の路面標示などを行います。また、七月二十五日から二十九日まで市役所本庁正面に、事故写真やパネルなどを掲示します。

交通安全指導所の開設

月日	時間	路線名	場所
7/21	午前10時～	国道116号線	新潟商業高校前
7/22	午前10時～	主要地方道 新潟・小須戸・三条線	県庁前付近
7/23	午前10時～	国道116号線	高山小橋西詰
7/24	午前10時～	国道49号線	姥ケ山インター付近
7/25	午前10時～	国道345号線	松浜郵便局前

母と子の良い歯のコンクール　小林さん親子が県代表

昭和六十一年度新潟市「母と子のよい歯のコンクール」が七月五日行われ、審査の結果次の五組のみなさんが選ばれました（敬称略）。

▽小林さだ子・啓太（青山新町）
▽間瀬幸子・友美（真砂一）
▽木口英子・慶美（青山四）
▽高橋厚子・俊太郎（西大畑）
▽伊藤年江・靖恵（米山五）

表彰式は七月十八日に行われ、小林さん親子を県代表に推せんしました。

今年の対象は五十七年四月一日から五十八年三月三十一日までに生まれた子供約五千五百人の中から三歳児健康診査と保育所歯科検診で選ばれた人や一般応募者など四十組が参加しました。

三歳児の虫歯り患率は五八・三%、一人平均三・一本の虫歯があります。お母さんたちのり患率はさらに高く、六十年度の妊婦歯科検診では九九・五%で、一人平均十四本程度の虫歯がありました。

今回審査にあたった市歯科医師会の西原徹先生は「児童の歯については、年々改善がみられます」と話してくれました。

〈寝たきり老人〉寝具を無料で乾燥します

家庭で寝たきりのお年寄りに、少しでも快適な生活を送っていただくため、市では、お年寄りが使っている寝具の乾燥を無料でサービスしています。

対象　おおむね三カ月以上寝たきりになっている在宅の六十五歳以上のお年寄り

実施期間　七月三十一日まで

実施方法　①民生委員が対象者に寝具乾燥券を配布します。②利用者は乾燥券に記載の指定業者へ連絡して下さい。

※乾燥の間、交換寝具がない場合は、その旨を指定業者にお申し出下さい。無料で交換寝具が借りられます。

問い合わせ　老人福祉課（本庁舎六階）へ

社会教育団体・グループの調査にご協力を

市内で活動する団体で社会教育活動を目的とする団体の方は下記へご連絡ください。調査票をお送りします。この調査は、団体・グループの実態を把握し、今後の施策の資料とするものであり、またこの調査をもとに団体名簿を作成しますのでご協力をお願いします。

※ただし、市内公民館などの公共施設を活動の場として利用している団体・グループは、その施設に調査票を置いてありますので申し出てください。

連絡先　市社会教育課（一番堀通町3－12市分庁舎4階、内線620、621番）へ

住まいの相談（無料）

日時　7月25日午前10時～
会場　西地区事務所
問い合わせ　市建築組合連合会（☎66－6650）へ

石山地区公民館会場催し物

（会場☎86－5631）

㊛えほんとおはなしのへや
日時　7月29日午前10時～（4歳～7歳）午前10時50分～（8歳～12歳）
内容　絵本の読み聞かせ
定員　各40人
申し込み　当日、直接会場へ

㊛初心者大正琴教室
日時　7月30日～毎週水曜日午後1時半～3時半（計9回）
定員　20人　**経費**　1,000円（琴代実費）
申し込み　7月28日までに電話で会場へ

「大輪朝顔」展示会

日時　8月2日～6日　午前7時～11時
場所　白山神社・社務所前

鈴虫の頒布と交換の会

日時　7月27日午前9時～正午
会場　東北電力グリーンプラザ
会費　300円　**持参品**　ビニール袋
問い合わせ　鶴巻（☎71－4545）へ

中学生「海の図画コンクール」入選作品展覧会

日時　7月25日～7月30日午前9時～午後6時半（日曜日の開館は午前9時半）
会場　東北電力グリーンプラザ
※入場の方には帆船絵はがきなどを差し上げます。

大学等卒業予定者就職ゼミナール

日時　7月28日午後1時～4時半
会場　県庁西回廊2階
定員　先着300人
申し込み　新潟公共職業安定所（☎44－0131）へ　※来場者に求人企業を掲載した「就職ガイドブック」（市労政課作成）などの資料を差し上げます。

勤労者美術展・中央展作品募集

募集作品　日本画、洋画、彫塑、工芸、書道、写真（各部門とも1人1点以内、未発表のものに限ります）
応募期間　9月8日～11日
応募資格　応募部門のプロは除きます
応募先　所定の申込書に、作品1点について1,000円を添え、新潟労政事務所（川岸町3－18－1、☎31－8171）へ

補装具適合検査会

身体障害者の補装具（義手、義足、コルセット、安全づえ）の適合検査会を開きます。専門の技術員が相談に応じ、小さな修理も行います。お気軽にどうぞ
日時　7月27日午後1時～4時
会場　市社会福祉センター（八千代1）
問い合わせ　市身体障害者福祉協会連合会長・田村初太郎（☎86－8386）へ

「電波障害防止」テレビ放送用 カラー図案コンクール

応募資格　中学生
締め切り　9月6日
作品の規格　用紙は厚めの画用紙で、タテ27cm、ヨコ38cmとし、図案は用紙全面を使って横長に描いて下さい。文章は簡潔な言葉を使い、文字は1字1cm²以上の大きさにして下さい。
問い合わせ　市内の各放送局へ